

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | キッズボンドいまいせ | | | 公表日 | 2026年 3月 10日 |
|----------|----|--|----|-----|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | | ・十分な広さを確保しています。また、玩具や機の配置などの工夫をしたり、使用する場所を人数に応じて分けたりしています。 | ・物の高さや、物の配置などに気を配り、環境設定をしています。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 8 | | ・適切に職員の配置をしています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8 | | ・訓練指導室からトイレまでバリアフリーになっています。 | ・安全対策をはかれる道具や構造化のサインを用いて、さらなる安全環境に向け取り組んでいます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8 | | ・1階・2階があるので、活動に集中しやすいようにしています。 ・心地よく過ごせる環境空間を作り、毎日、清掃・殺菌を行い支援中は、常時換気を行っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 8 | | ・2階は「静」の動き、1階は集団活動が出来る場所を用意しています。また、個別の部屋、クールダウンできる部屋もあります。 | ・現在の対応を継続します。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8 | | ・毎日、受け入れ前ミーティングを実施。支援終了後に気になる点を話し合いをしています。 ・職員会議を実施し、意見を出し合っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | ・毎年、評価表の配布を実施し、保護者様とラインや電話で連絡をとり、保護者様の意向を把握するように努め、業務改善を行っています。 | ・保護者様からのニーズを把握できるような関係性を築いていきます。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | | ・毎日、受け入れ前ミーティングを実施。支援終了後に気になる点を話し合いをしています。 ・職員会議を実施し、意見を出し合っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 8 | ・外部評価は行っていませんが、市の福祉課や相談支援専門員の意見を取り入れています。 | ・市の福祉課や各機関の意見をいただき、業務改善に取り組んでいます。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8 | | ・本部研修・教室に顧問を招いての講習を定期的実施しています。また市役所等の研修にも参加しています。 | ・今後も様々な研修会に参加していきます。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 8 | | ・HPに公開しています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 8 | | ・Vineland-IIを専門職員と実施したり、ASISTを職員で実施したりし、こどもと保護者様のニーズを取り入れ、支援会議を行い、専門職員のスーパーバイズを受けて、支援計画を作成しています。 | ・保護者様のニーズと、お子様の成長、発達、気持ちの状態に合わせて、放課後等デイサービス計画書が作成できるように努めています。 |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 8 | | ・Vineland-IIを専門職員と実施し、こどもと保護者のニーズを取り入れ、支援会議を行い、専門職員のスーパーバイズを受けています。 | ・いろんな意見を出し合い、話し合える支援会議にしています。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8 | | ・毎日のミーティングで支援内容を伝え、定期的にケース検討を実施し支援計画に沿った支援をしています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 8 | | ・キッズボンドグループで、Vineland-IIやASISTを活用しています。 | ・日々の気づきを書き留めて、職員間で共有、検討、確認を行っています。 |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | | ・ガイドラインにそって、保護者様のニーズも取り入れ、こどもの状態や特性等に配慮し、分かりやすい具体的な支援内容で支援を行っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 8 | | ・活動・行事ミーティングでは原案を持ち寄り、職員のディスカッションで決定しています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | | ・こどもの状況に合わせて、活動・行事を決めています。特に季節行事を大事にしています。また他の教室の行事等も参考にし、工夫しています。 | ・職員で話し合い、新しいものを取り入れていきます。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8 | | ・個別活動には、保護者様のニーズを取り入れ、こどもが楽しく参加出来るようにしています。また集団活動では、異年齢との関わりが持てるようにしています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 8 | | ・毎日、必ずミーティングを実施しています。ミーティングの中でその日の支援内容・こども達の様子を職員全員で周知しています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 8 | | ・個人記録に残しながら、職員一人一人がその日のこども達の様子を報告、共有し、次回の支援に繋がっています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 8 | | ・小さな事も記録に残し、職員間で情報共有し、支援の振り返りや、ケース検討時に活用し、支援・改善につなげています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 8 | | ・モニタリング時以外にも、見直しの必要がある場合には、保護者様と連絡をとり計画の見直しをしています。 | ・普段から気になる事を、書き留めるようにし、振り返りやすくする事が出来るようにしていきます。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 8 | | ・製作・食育・お出かけ・地域交流を柱とし支援を行っています。 | ・4つの基本活動を意識し、個々のこどもの状況に応じた支援が出来るように工夫していきます。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8 | | ・どのような遊びができるのか提示しこどもたちが選択できるようにしています。 | ・こどもたちの意思を尊重し、待つ事も大切にしています。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 8 | | ・担当者会議には、児発管が参加しています。 | ・他の職員も参加出来る時は同席出来るようにしていきます。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 8 | | ・必要に応じて児発管が中心となり行っています。 | ・相談支援事業所と連絡を取りあい、関係機関連携もいつでも対応できる体制をとっていきます。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8 | | ・保護者様とは連絡帳やメール、電話を通して、学校とは必要に応じ連絡を取り、適切に行っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 8 | | ・必要に応じて児発管が中心となり行っています。 | ・関係機関連携をとって情報共有、相互理解に努めていきます。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 8 | | ・移行支援会議等にも参加し、各機関との情報共有を行っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 8 | | ・公認心理師や言語聴覚士から助言を受けています。 ・専門機関と連携し、研修等にも参加し、最新の情報を取り入れる体制をつくっています。 | ・様々な内容の研修会に全職員が参加出来るようにしていきます。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 8 | | ・現在、健常児との交流が取れてないので今後、取り組んでいきたいです。 | ・お出かけ先で、地域の他のこどもたちと活動する機会を増やしていきます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 4 | ・各機関との必要な情報共有や研修の参加をしています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8 | | ・小さな事でも連絡が取りやすいようにライン等でもつながり、その日の様子を伝えやすい環境を作ったり、保護者との面談を行ったりしてお互いに共通理解が持てるようにしています。 | ・日々の様子をしっかりと伝える事が出来るようにしていきます。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 6 | ・プログラムとしては、行っていませんが、個別の相談に応じています。 | ・ご希望に応じてご家族で参加できるプログラムや、保護者様にも参加いただける勉強会などを企画するかを検討していきます。 |
| 保護者への | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 8 | | ・契約時に丁寧に説明しています。 | ・各項目で確認しながら、丁寧に説明していきます。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8 | | ・日頃から保護者の方と話をする機会をとり、情報や要望を共有しています。 | ・相談しやすい関係を築けるようにしていきます。 |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 8 | | ・ガイドラインに基づき、保護者様のニーズも取り入れ支援計画を作成し、保護者様に分かりやすく説明し、同意を頂いています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8 | | ・送迎時や、電話等でお話を聞いたり、面談を行ったり、時には訪問をして、お話を伺っています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 5 | ・コロナ感染予防の観点から行えませんが、児発管を中継とし情報を共有しています。 | ・保護者様にご意見をいただき開催するか検討していきます。 |

| | | | | | | |
|---------|--|---|---|--------------------------------------|---|--|
| 説明等 | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8 | | ・苦情があった場合には担当職員が、管理者・児発管に報告し、保護者と面談するなど速やか且つ適切な対応をとっています。 | ・相談しやすい関係を築けるようにしていきます。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 8 | | ・毎月「キッズポンド通信」を発行し保護者様に配布。日々の活動の様子もFacebookにアップしています。翌月の行事予定も一緒に配布しています。連絡体制は、ラインを活用しています。 | ・通信発行や、Facebookアップをする際は、見やすく、分かりやすくしていきます。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8 | | ・書類は鍵付書庫で厳重に保管しています。HP上の写真には保護者様の同意を得た上で、モザイクをかけています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8 | | ・あいまいな表現は使わず、場合によっては視覚化して意思疎通を図っています。 | ・お一人お一人の状況に合わせた分かりやすい対応を工夫していきます。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 6 | ・地域の方との関係を大切にしています。 | ・地域の方との交流を、今後も深めていきたいです。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8 | | ・契約時に説明をしています。 ・月一回、避難経路の確認、避難、防犯、動画鑑賞等で訓練を行い、毎月「キッズポンド通信」を発行し保護者様に配布。活動の様子もFacebookにアップしています。 | ・様々な事故を想定した訓練を定期的に行っています。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8 | | ・年に1回以上の研修、命を守る訓練を行っています。 | ・職員と利用児が参加し非常事態を想定した訓練をしていきます。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 8 | | ・毎年必ずフェースシートを保護者に記入してもらい確認しています。てんかん発作等のお子様については対応等を保護者に確認し、職員に周知しミーティングでも確認しています。 | ・フェースシートに変更がある場合はその都度連絡をもらい記入していきます。 |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 8 | | ・保護者が医師から受けた情報に基づいて対応しています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8 | | ・安全計画を作成し研修、訓練等を行い、安全管理に対して意識を高めています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8 | | ・お便りで知らせ、教室入口に安全計画書を備えてあり、いつでも保護者様が確認できるようにしています。 | ・保護者様、利用児共に安心して事業所が利用できるようにしていきます。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8 | | ・事業所内だけではなく、グループ全体で共有しています。 | ・危険だと思えばすぐにメモを取り、ヒヤリハットとして職員で共有していきます。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8 | | ・虐待防止委員会を作り、意識向上のための研修を実施しています。 | ・現在の対応を継続します。 |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 8 | | ・基本的に身体拘束を行わずに支援を行う方針です。現在も事例はありません。 | ・現在の対応を継続します。 | |